

総合教育センターだより

第78号

平成17年3月

ITEC が誕生しました！

センターの新しいホームページです。

京都府総合教育センターでは、これまでのホームページを一新して、ITEC (Information Technology Education Center) を立ち上げました。広報だけでなく、研修講座に連動して講座内容を深めたり校内研修に役立つ情報の提示や研究指定校等の先進的な取組、学習指導案、教材・教具の紹介など、これまで以上に学校を支援するホームページに生まれ変わりました。

※URLはこれまでと同じです。http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/ インターネット検索で、「京都府総合教育センター」と入力・検索してください。

平成17年度 センター事業について

平成17年度の事業計画をお知らせします。「学校を支援するセンター」を具現化する事業を展開していきます。8～10ページに重点事業を紹介しています。

12～15ページには、特徴ある研修講座を掲載しています。

ITECの活用とともに研修講座等のセンター事業に御期待ください。

目次

ITEC 特集	
研修講座ページ	2
学校支援ページ	4
教育資料ページ	7
17年度重点事業紹介	8
教育相談-不登校-	11
17年度講座の特徴	12
研究員研究内容	16
お知らせ	16

The screenshot shows the ITEC website interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'HOME', '研修講座', '学校支援', etc. Below that is a large banner image of a lake and mountains. To the right of the banner, there's a text box announcing the new website. Below the banner, there are several sections: '目次コンテンツの紹介' with icons for 'センター紹介', '研修講座', '学校支援', and '検索ツール'; '研修講座' with details about the center's mission; '学校支援' with information on support for elementary, middle, and high schools; '検索ツール' with a search box; and 'お知らせ' with a list of recent news items. The footer contains the center's name, address, and contact details.



このサイトでは、研修講座に関わる次のような情報を掲載しています。



- ITEC活用講座（定期的にも内容を更新）
- 研修講座一覧及び実施要項（随時、内容を更新）
- 研修にかかわる情報の提供
- ダウンロードして活用できるもの
 - ・ 初任者研修テキスト・ノート
 - ・ 10年期研修ノート

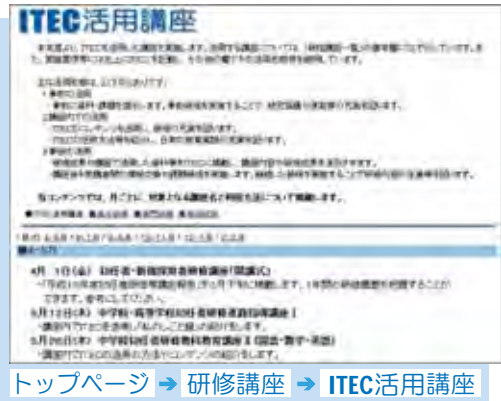
ITEC活用講座

ITECを活用した講座の詳細は、トップページの上記のバナーからも入れます。

研修講座の効果的・効率的な運営を目指します。

ITECを活用することにより、研修講座では、次のような成果を期待しています。

- 研修内容の深化
- 研修成果の共有化
- 課題意識の向上
- 自己研修での活用
- 研修意欲の喚起
- 講座時間の短縮



以下に、ITECを使った研修講座については、「研修講座の概要」の冊子に **ITEC** または **I** と表記しています。ITEC上では、研修講座サイト内のITEC活用講座の中で詳しく説明しています。なお、定期的にも内容を更新しますので、「ITEC活用講座」のサイトに御注目ください。
ITECを使用した研修方法を以下に説明します。

事前研修での活用

研修内容に関連する情報を知り、理解を一層深める講座
(例) 「校長講座」、「教頭講座」、「授業改善・評価研究講座」

講座に関連する京都府の「新京都府人権教育・啓発推進計画」や京都府教育委員会の「京都市少人数教育(まなび教育推進プラン)」のWebサイトや、実践発表に関連してITECにある当該校の学習指導案等の実践成果を事前に読むことにより、研修内容の理解を一層深めることができます。

研修内容に関する協議題等を事前提示し、効率的な運営を図る講座

(例)「道徳教育講座」、「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」

講座の中で実際に学習指導案を作成する演習を行います。そのためにITECに教材となる資料を提示します。受講者は事前に資料を読んでおくと、演習を効率的に行うことができます。

また、提示された協議題等に対し、受講者があらかじめ実践事例や協議内容を準備することで、一層研修内容の深化を図ることができます。

講座内での活用

研修講座で研修教材として活用する講座

(例)「小学校音楽科等実技実習ベーシック講座」

研修するに当たって、掲載内容をもとに実習します。講座での理解を深めるとともに、研修後の確認に役立たせます。

研修後のフォローアップ・アフターケア

研修内容に関する最新の情報や実践的課題等を提示する講座

(例)「マネジメント能力向上特別講座」(小中学校、府立学校)

講座修了後も、教育改革をめぐる最新の情報や、SWOT分析を行うための課題等を提供し、研修内容に関して受講者の意識高揚を図ります。

受講者が研修内容を再確認し、内容の深化を図る講座

(例)「部長・主任等演習特別講座」

講座修了後に、受講者自身が研修内容を確認するために、講座で使用した資料等を閲覧することができ、研修内容の理解を深めることができます。

講座内で作成した教材等の公開

教材・教具に関する情報を提示する講座

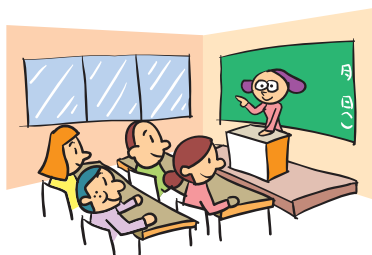
(例)「小学校理科ものづくり講座」

教科においては児童生徒の実態に応じた教材・教具や児童生徒の興味・関心を引き起こす教材・教具がますます重要になってきます。講座ではこれらの教材・教具を作成するとともに、成果物を府内の教職員に紹介することも目的のひとつとしています。

教科等全体指導計画に関する情報を提示する講座

(例)「情報化推進リーダー養成特別講座」

1ヵ月の講座の中で、情報教育の全体計画や情報モラルに関する指導計画等を作成します。この研修の成果を府内の教職員に紹介し、授業に活用できるようにします。



平成17年度 研修講座の特徴

● 講座改革の視点 一利用しやすい研修講座を目指して一

センターでは平成17年度の研修講座の策定に当たり、児童生徒や授業を大切に「学校を支援する」立場から、研修講座の在り方について改革を行いました。前述の「ITECを活用した講座の開催」のほか、次のような方針で改革を進めます。

- 1 教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座内容の策定
- 2 北部研修所の有効活用や午後開催等により、受講者が参加しやすい講座運営
- 3 学校・地域で活躍するための指導者養成講座の実施

受講者が参加しやすい講座運営

授業への影響を少なくすることやセンターまでの通所時間を短縮する視点で、講座を設定しました。

北部研修所を有効活用した講座 (例)

1 講座を2会場分離開講

「道徳教育講座」A(センター会場)	(8月25日)	総合教育センター
「道徳教育講座」B(北部会場)	(8月26日)	総合教育センター北部研修所

デジタル疎水等を利用した同時開講

「校長講座Ⅰ」	(6月10日)	総合教育センター、同 北部研修所
「『学校運営基礎』特別講座Ⅰ」	(6月28日)	総合教育センター、同 北部研修所
「『学校運営基礎』特別講座Ⅴ」	(2月6日)	総合教育センター、同 北部研修所
「部長・主任等演習特別講座Ⅱ」	(10月17日)	総合教育センター、同 北部研修所

2 講座を隔年交互開講

17年度 「生徒指導講座」	(6月1日)	総合教育センター北部研修所
17年度 「進路指導講座」	(11月14日)	総合教育センター
18年度 「生徒指導講座」	(○月△日)	総合教育センター
18年度 「進路指導講座」	(×月□日)	総合教育センター北部研修所

地域に出かけて開催する講座

教育局別で開催

「小学校理科実験ベーシック講座<B区分>」や「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」では、教育局管内別に小・中学校を会場にして実施します。

地域別で開催

「学校教育相談実技実践基礎講座Ⅰ」では、府内を3つの地域に分け、それぞれの会場で該当地域の指導者養成講座修了者を講師に招いて実施します。

柔軟な開催時間の設定

2会場での開催や地域に出かけて開催する講座等により、講座の開始及び終了時刻を柔軟に設定します。特に授業への影響を少なくする視点から、午後半日開催の講座を増やします。

学校・地域で活躍するための指導者養成講座の実施

「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」では、受講者を講座講師として活用するなど、指導者養成講座の受講者が学校や地域で指導的な立場になることを前提に講座内容を設定しています。今後、研究会等での活躍が期待されています。

教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座内容の策定

17年度の研修講座の中で、特徴的な講座を紹介します。

国語力アップ促進講座

新規開講

「国語科の読解力向上」を目指します

—学力に関する国際調査結果（PISA2003）等を受けて

小・中学校連携

国語力アップのために、小・中学校が同じテーブルで協議します。

少人数グループによる研究協議

協議を深めるために、少人数に分かれて行います。

実践的指導力の向上

効果的な指導方法について演習を行います。

学力診断テストの活用

診断テストの結果から国語科の課題を探ります。

専門的な指導・助言

国語教育の専門家から実践的な課題解決に向けた助言を受けます。

小・中学校の実践成果や課題を持ち寄り、研究協議を通して課題解決に取り組みます。

初任者研修講座

「指導の基礎・基本」をみっちり!!

講座編成や内容事項の改善・充実

「教科指導演習講座」を通して教科指導の実践的な指導力向上

社会人としてのコミュニケーション能力の育成

発問のしかた板書等の基本的指導技術の向上

学習意欲や読解力を向上させる学習指導

1学期の実践の振り返り、2学期の教育実践に生かせる研究協議（宿泊研修）

前年度の初任者の体験発表を通して実践的指導力の向上（開講式）

初任者の声（平成16年度の初任者アンケートから）を生かします。

- ・実習や演習を多く、体験的に学ぶ機会を増やして欲しい。
- ・具体的な手立てや実践例を示して欲しい。
- ・児童の心に響く言葉かけが課題です。
- ・授業をどうしたら分かりやすく楽しくなるのか。
- ・発問のしかたについて。
- ・子どもとの接し方、保護者への対応について。
- ・授業規律をつける工夫を知りたい。

小学校音楽科実技実習ベーシック講座

新規開講

ひと工夫で生き生き授業

ピアノをさわらなくても、授業が終わった時、「今日は楽しかった。またやりたい。」と子どもたちが言ってくれるような指導のひと工夫をたくさん紹介します。



【鍵盤ハーモニカ一つ上のテクニック】
【体で音楽】
【リコーダー名人になろう】
【和音のしくみ】

ITECの楽しい授業のひと工夫

小学校図画工作科実技実習ベーシック講座

新規開講

何をどのように指導するか？

基礎・基本から始めよう

子どもたちに楽しく豊かな表現をさせる指導の工夫やポイントを紹介します。

絵・工作など、造形活動の指導を中心に、授業に生かせる内容です。



【万年カレンダーを作る】
【色のみちづくり】
【段ボールブロックで人を作る】
【楽しいもよう】
【はり絵で楽しむ】
【掛け軸を作る】

ITECの楽しい授業のひと工夫

小学校家庭科実技実習ベーシック講座

新規開講

“できた” “すごい” という感動を！

作りあげる喜びを

子どもたちに体験させたいですね！

子どもたちの笑顔あふれる実技指導を創造しましょう。すぐにできる楽しい授業のひと工夫をたくさん紹介します。



【ごはんをたこ】
【みそ汁をつくろ】
【包丁にチャレンジ】
【手ぬい名人になろう】
【ミンぬい名人になろう】

ITECの楽しい授業のひと工夫

小学校体育科実技実習ベーシック講座

新規開講

体づくり運動 器械運動 陸上運動

体を動かすことの楽しさを

体育の時間を楽しみにしてくれる授業づくりを目指し、体力の低下が続いている現状を打開する運動の指導方法と評価について、実習と研究協議を織り交ぜて行います。



【体ほぐし運動】
【体づくり運動1】 - 階段を活用した運動 -
【マット運動】 - いろいろなころがり -

ITECの楽しい授業のひと工夫

[ホーム](#) → [学校支援](#) → [小学校](#) → [楽しい授業のひと工夫](#) → [音楽](#) ・ [図画工作](#) ・ [家庭](#) ・ [体育](#)

特別支援教育コーディネーター講座

特別支援教育コーディネーター養成講座 2会場で実施

特別支援教育コーディネーターとして必要な知識、技能を学びます。個別の指導計画の作成等について少人数グループで研究協議や演習をします。

特別支援教育コーディネータースキルアップ講座 教育局ごと実施（午後開催）

地域実態に合った支援体制の整備等の具体的な内容を取り上げます。研修を通して各校のコーディネーターのネットワーク化を図ります。

ITEC 活用

学校教育相談の講座

学校教育相談実技実践基礎講座 Iは3会場、IIは2会場で実施

学級担任を支援するための学校教育相談の基礎的な知識・技能を学びます。

学校教育相談実技指導者養成特別講座

学校教育相談の指導者として必要な知識・技能を学びます。

学校教育相談事例研究講座

上記2講座のいずれかを修了した受講者を対象にしています。不登校、登校しぶりの事例研究を通して専門的力量を高めます。

小学校理科ものづくり講座

新規開講

ねらい▼

知的好奇心を高め、実感を伴う理解

今日「理科離れ」といわれていますが、理科の授業改善・工夫を図り、興味・関心を高め学習意欲をわかせる授業を目指し、「理科大好き子」を育てる講座です。

理科の授業で学んだことを生かして、おもちゃや簡単な実験器具を子どもたちが作り、体感して理解を深めるための講座です。

学習した知識を確実に身に付ける「確かな学力」の育成を図るために、学習内容に応じた実験器具等の事例を紹介するとともに、受講者も作成します。

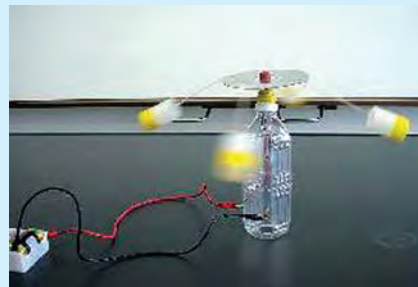
講座の中で考えられた実験器具や学校で使用された優れた器具等をITECで紹介する予定です。

ITEC 活用

夏期休業中に実施します。

「理科大好き子」の育成

【教材例 メリーゴーランド】



電池の直列と並列の違いによるメリーゴーランドの速さは？

小学校理科実験ベーシック講座〈A・C区分〉

新規開講

■今年度■

「小学校理科実験ベーシック講座〈B区分〉」

受講者から好評を得ました

■新たに■

「小学校理科実験ベーシック講座〈A・C区分〉」を新規開講！！

「小学校理科ものづくり講座」と同様に「理科大好き子」を育てる講座です。特に、観察・実験を重視し、実験技能の基礎を身に付けることが理科教育では大切です。

本講座では、教科書に出てくる実験や少し工夫した実験を取り上げ、安全面等を配慮した指導方法について実習を行います。

本年度、B区分の受講者の感想で、「苦手意識があり、実験から遠ざかっていたが、講座を受講して実験に対して自信がわいてきました。子どもたちに実験をさせてやりたい。」という意見が寄せられました。

受講後もITECの「小学校理科実験基本マニュアル」を利用すれば、講座内容の確認がいつでもできます。

ITEC 活用

「理科大好き子」の育成

健康安全教育講座

「自動体外除細動器 (AED) の使用方法」を取り上げます。

心臓突然死対策として、昨年7月から、一般の人にも緊急時に自動体外除細動器の使用が認められることになりました。京都府では、各保健所及び府立施設等に配備されています。

児童生徒を突然死から救う手段として期待が寄せられています。健康安全担当教職員を対象にして「自動体外除細動器の特性と使用方法」についての研修を行います。

府立学校技術職員（校務）研修講座

新規開講

学校技術職員の研修機会を設けます。府立学校を会場に、内容は学校環境などについての講義や演習です。

総合教育センターの研究員による研究内容一覧

研 究 テ ー マ	研 究 員
中学校外国語科英語におけるマルチメディアを活用した授業の工夫	馬場 孝司
デジタル素材を活用した授業展開の提案 －日本史Bの場合－	高橋 稔恵
確かな学力を育成するための指導の充実 －国語における「読むこと」領域等の指導－	音川誠一郎
確かな学力を育成するための指導の充実 －数学における校種・学年の枠にとらわれない問題の開発・教材化－	黄瀬 正敏
確かな学力を育成するための指導の充実 －見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるための指導法の工夫改善－	寺嶋 領一
情報モラルと校内研修	井手 雅人
学校教育相談で活用できる心理療法を考える	大石 敏朗
不登校の未然防止に向けた取組の在り方	山本 雅哉
学校と教育相談機関等専門機関との連携について	村瀬 敏則

それぞれの内容については、ITECの「センター研究員16年度研究概要」のサイトをお読みください。

([トップページ](#) → [学校支援](#) → [全般](#) → [研究概要\(16年度\)](#) → [研究概要\(16年度\)](#))

理科大好きネットワークメールマガジン発刊

京都府の理科教育情報を小学校及び盲・聾・養護学校(小学部)の先生方にダイレクトに伝えます。

「小学校理科実験基本マニュアル」・「小学校理科講座」のおすすめ情報

発信内容

京都府小学校教育研究会理科部の情報
その他、教育に有益な情報

配信希望の方は、京都府総合教育センター
北部研修所へ申し込んでください。

メールマガジンはいずれも無料です。

京都府情報教育メールマガジンの発刊

京都府教育委員会では、京都府の教育の情報化や情報教育をより一層推進するため、これらの最新情報、府内や他府県の事例など、教職員に役立つ情報をメールマガジンとして発刊しています。

発行日 毎月1日発行

掲載内容 ・府内や他府県の情報教育に関する情報 ・京都府公立学校Webページ紹介
・情報教育関連のサイト紹介 ・学習に役立つサイト紹介
・情報教育に役立つ情報(ネットワーク入門、テレビ会議入門など)

申込方法 京都府教育委員会のHPから登録してください。

<http://www1.kyoto-be.ne.jp/mirainet/touroku.html>

府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口

木曜日 午後1時から午後7時まで(祝日を除く)

京都府総合教育センター 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町

TEL (075)612-3266 FAX (075)612-3267

企画教育部 (612-2950) 教職教育部 (612-2952)

障害児教育部 (612-2953) 教育相談室 (612-2959)

ふれあい・すこやかテレホン(612-3268または3301) 毎日8:30-20:30(祝日を除く)

<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/> E-mail ed-center@kyoto-be.ne.jp

北部研修所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内

TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935

ふれあい・すこやかテレホン(0773)43-0390 月～金 10:00-19:00(祝日を除く)

E-mail ned-center@kyoto-be.ne.jp



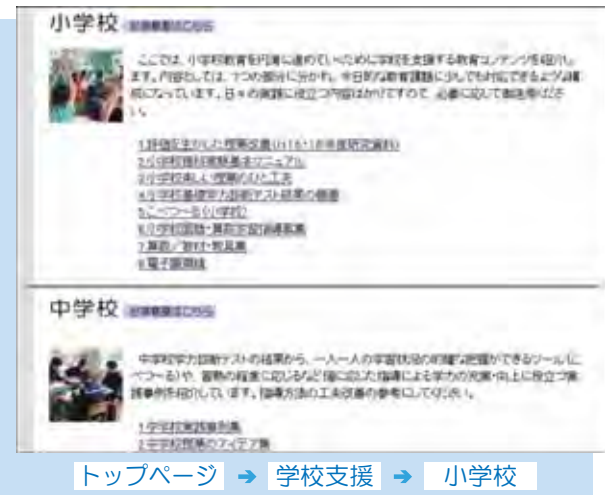
このサイトでは、学校の教育実践の成果を上げるための様々な情報を掲載しています。

教育実践の交流の場として、学校とともに創りあげていきます。

本サイトは、センターの研究機能としてこれまでに蓄積したコンテンツを掲載するとともに、各学校で教育実践を通して作成された様々なコンテンツを提供していただくことを願っています。そして、京都府の教育全体の共有財産として、学校を支援することを目的としています。

ITECを活用することにより、学校支援では、次のような成果が期待されます。

- 教材研究の支援
- 授業（実験・実習）の支援
- 学校教育相談の支援
- 自己研修の支援
- 校内研修等の支援
- 実践成果の迅速な波及
- Web上での研究発表会
- タイムリーな情報提供



今回、ITECに新たに掲載した内容を中心に説明します。

教材研究の支援

学習指導案集

小・中学校の国語等の教科に関して「京都夢・未来校」等の協力を得て、学習指導案を掲載しています。

それぞれの学習指導案はPDF形式で提供されていて、各校の授業実践の参考にしていただけます。

また、学年毎に単元名と習熟度別授業、学年TTによる授業など指導形態も示しています。



トップページ → 学校支援 → 小学校 → 指導案集

教材・教具集

授業で活用できる教材・教具を新たに作成し、掲載しています。小・中学校をはじめ、高等学校外国語科英語では、大学入試センター試験用リスニング教材を作成し掲載しています。視聴覚機能を駆使したITECならではの教材です。授業や家庭学習等で御活用ください。

今後、研究協力員等が作成したものや研修講座で作成した教材・教具を掲載して内容の拡大・充実に努めていきます。

現在、掲載している教材・教具は次のとおりです。

小学校 / 算数科

中学校 / 数学科、理科、外国語科英語

高等学校 / 国語科、外国語科英語

盲・聾・養護学校

実際の画面を御紹介します。一度このページをご覧ください。



トップページ → 学校支援 → 小学校 → 教材・教具集



小学校算数科 教材

トップページ → 学校支援 → 小学校 → 教材・教具集



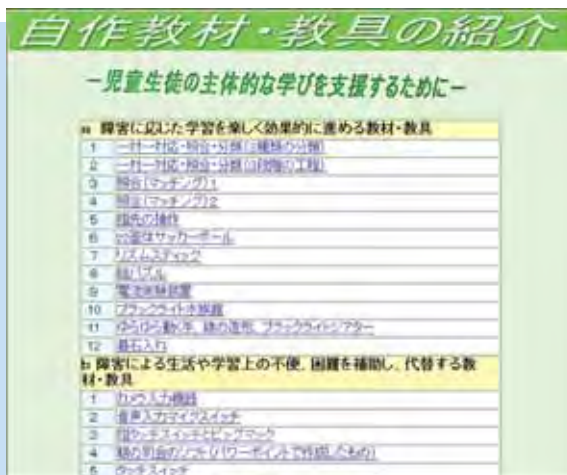
大学入試センター試験用リスニング 教材

トップページ → 学校支援 → 高等学校 → 指導コンテンツ



小学校算数科 教材

トップページ → 学校支援 → 小学校 → 教材・教具集



盲・聾・養護学校 教材

トップページ → 学校支援 → 盲・聾・養護学校 → 教材・教具集



アリの電子顕微鏡写真

トップページ → 学校支援 → 中学校 → 電子顕微鏡

授業(実験実習)の支援

小学校 やって楽しい理科授業 - 授業展開例 -

授業の様子が写真と動画で見られます。先生の指導や子どもたちの実験の様子が伝わってきます。

好評であった出前講座「小学校理科実験ベーシック講座」の研究授業を掲載しています。

小学校 楽しい授業のひと工夫 - ワンポイントアドバイス -

子どもたちの「できた!」「おもしろい!」という声が飛び交う楽しい授業展開をアドバイス。小学校の音楽、図画工作、家庭、体育の実技で利用できる一工夫を紹介しています。



[トップページ](#) → [学校支援](#) → [小学校](#) → [理科実験基本マニュアル](#) → [授業展開例](#)



[トップページ](#) → [学校支援](#) → [小学校](#) → [楽しい授業のひと工夫](#)

自己研修の支援

ITECでは、研修講座に参加するだけでなく、自分で研修する「自己研修」も支援しています。現在、情報教育におけるコンピュータ・スキルに関する内容を掲載しています。

必要なときに必要なだけ自分ひとりで研修することができます。

今後、基礎的な内容やタイムリーな内容について自己研修ができるように内容を充実していきます。

また、研修講座によっては、講座の要約を掲載するなど、校務等で参加できなかった教職員が自己研修できるよう便宜を図ります。

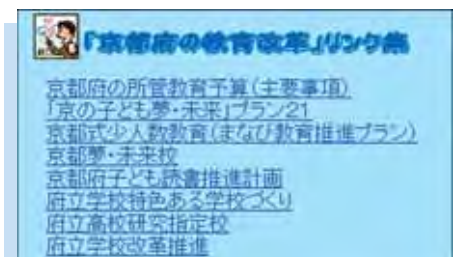


[トップページ](#) → [学校支援](#) → [情報教育](#) → [e-Learning](#)

タイムリーな情報提供

右の図は、「校長講座」や「学校運営基礎特別講座」で利用する「京都府の教育改革」に関するホームページのリンク集です。

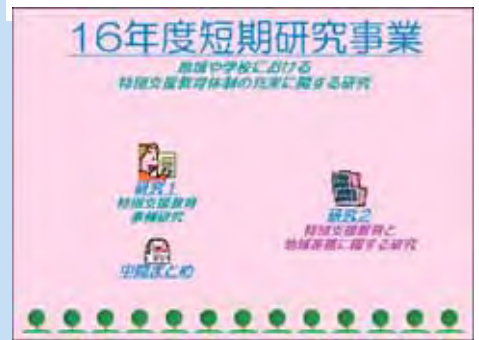
最新の情報をリンク集の形式で提供し、講座の事前研修はもとより、自己研修にも役立つようにしています。



[トップページ](#) → [各部屋から](#) → [企画教育部](#) → [教育改革](#)

校内研修等の支援

指導者養成講座のように学校・地域を代表して受講する講座では、今後、学校・地域で研修を行うために、講座で使用したプレゼンテーション資料等を改めて整理して、掲載する予定です。指導者はこれらの資料をダウンロードするとともに課題やニーズに合った資料に加工して校内研修等に活用することができます。



平成16年度教育資料(研究事業の成果)

[トップページ](#) → [学校支援](#) → [全般](#) → [教育資料一覧](#)

「地域や学校における特別支援教育体制の充実にに関する研究」

研究1 特別支援教育事例研究

- LD、ADHD、高機能自閉症等への具体的支援
(府の「特別支援教育推進体制モデル事業」の巡回相談の事例より)
- モデル地域・推進地域の市町村の支援体制と支援方策
 - 市町村独自の支援体制構築
 - 相談ケースのアセスメント手順、アセスメントシート
 - 巡回相談、専門家チームの活用事例

資料提供推進地域

向日市	長岡京市
大山崎町	宇治市
城陽市	久御山町
八幡市	京田辺市
木津町	

- ・9つの相談事例を通して、具体的支援の方策を紹介しています。
- ・「特別支援教育推進体制モデル事業」を推進している市町村の支援体制や相談手順を一覧表でまとめています。
- ・就学前からの支援、広域エリアでの巡回相談等の市町村における特色ある取組を紹介しています。
- ・相談ケースで使用する様式例を紹介するとともに、アセスメントシート等をダウンロードして活用することができます。

研究2 特別支援教育と地域連携に関する研究

- 通常学級で特別な教育的支援を要する児童生徒の指導・支援
 - 校内支援の仕組み
 - 通常の学級や通級指導教室での指導・支援
- 盲・聾・養護学校がセンター的機能を発揮して行う小・中学校への支援
 - 盲・聾・養護学校が果たす役割や発揮する機能
 - 盲・聾・養護学校の市町村や教育局管内地域ネットワークへの参画

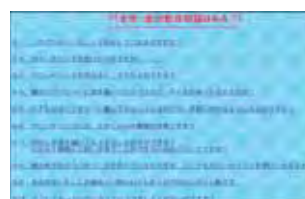
- ・小中学校で行われている指導・支援内容を紹介し、今後、盲・聾・養護学校が地域で果たす役割や提供できる機能をまとめています。
- ・地域の活用できる人・機関・施設を網羅して一覧にした「地域リソースマップ」の例を紹介しています。「個別の教育支援計画」の策定に活用できます。
- ・「個別の教育支援計画」の様式例を紹介していますので、各学校で策定する際の参考になります。

「小学校理科実験基本マニュアル」



理科B区分(物質とエネルギー)で教科書に記載されている実験についての指導者向けマニュアルです。

「来所・巡回教育相談Q&A」



初めて教育相談を受けようとする方が、センターの教育相談を安心して利用できるための情報提供を行います。

「評価を生かした授業改善(小学校編)ー2年次」については、次号で詳しく紹介します。

平成17年度の重点事業の紹介

学力の充実・向上に向けて

●研修講座からの視点●

国語科における読解力の向上

「国語力アップ促進講座」

- ・読解力向上に視点をいた小・中学校での国語科における指導の在り方について少人数グループでの研究協議

自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成

「総合的な学習の時間講座」

- ・①読解力の向上 ②問題解決能力の育成 ③学習内容や指導方法を焦点にした3部会での研究協議
- ・実践成果の事例発表と波及

授業改善を通して「確かな学力」の向上

「授業改善評価研究講座」

—小算、中数・英—

- ・「子どものための京都式少人数教育」の実践成果の事例発表と波及
- ・ITECを活用した評価を生かした授業改善

理科への興味・関心、学習意欲の向上

「小学校理科ベーシック講座」

(A・C、B区分)

「小学校理科教育講座」

「小学校理科ものづくり講座」

「中学校理科教育特別講座」

「授業の達人養成」事業に対応して、希望進路の実現に向けた高い指導力の育成

「高大連携『教科指導』講座」

—数学・英語—

- ・大学入試センター試験の分析
- ・国立大学の入試分析と指導の在り方

実践的な指導力の向上を目指した初任者研修、2年目研修の充実

「初任者研修講座」

- ・話し方や板書等の基本的指導技術の向上
- ・学習意欲や読解力を向上させる学習指導の在り方
- ・コミュニケーション能力向上のための実践的研修
- ・実践的課題を踏まえた指導力の向上
- ・ITECで講座内容を支援

「教職経験2年目研修講座」

●ITECの活用●

「学校支援」サイトに掲載

京都夢・未来校等の学力の充実・向上に向けた実践成果の発表

学力の充実・向上に向けた多数のコンテンツを掲載し、今後も拡大の予定です。

●メールマガジンの発刊●

「理科大好きメールマガジン」の発刊

京都府の理科教育情報を配信します。

●研究事業からの視点●

15・16年度研究テーマ 「評価を生かした授業改善(小学校編)」

詳しくは、ITECの[トップページ](#)→[学校支援](#)→[全般](#)→[教育資料一覧](#)

研究員による研究内容 「確かな学力を育成するための指導の充実」等

詳しくは、ITECの[トップページ](#)→[学校支援](#)→[全般](#)→[研究概要\(16年度\)](#)

17年度研究テーマ 「学びの基盤としての読解力をはぐくむ研究」

●小・中学校学力充実事業からの視点●

学力診断テストの実施

学力充実講座の実施

- ・診断テストの結果分析、資料作成
- ・個別指導資料(こべつ〜る)の作成
- ・学校別成績データ(FD版)の配付
- ・授業改善の実践発表と研究協議



「学校を支援するセンター」として、 さらに進化します

豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

●生命を大切にする「心の教育」の充実●

「道徳の時間」を要とした道徳教育の新しい展開

「道徳教育講座」

- ・評価方法の工夫改善と総合単元的な道徳学習
- ・模擬授業等の演習による実践的指導力の育成
- ・道徳教育の計画と展開

「教職経験3年目研修講座」

体験活動や読書活動を通じた豊かな情操の育成

「初任者研修講座」

- ・体験活動を通じた生命の尊重

「司書教諭講座」

- ・「京都府子ども読書推進計画」に基づいた豊かな心を育成する読書活動

「小学校実技実習ベーシック講座」
(音楽科、図画工作科、家庭科)

- ・実技実習を通じた健全な心身の発達と豊かな情操の育成

「IT授業推進特別講座」

- ・IT活用と情報モラルの育成

ITECによる「小学校 楽しい授業のひと工夫」の掲載

●今日的な人権教育の推進●

新京都府人権教育・啓発推進計画を受けて

「人権教育講座」

- ・人権教育指導事例集を活用した指導方法の改善

「校長講座」「教頭講座」

- ・人権教育の国際的潮流と京都府の取組

「教職経験2、3、5、10、20年期

- ・人権教育の今日的課題とその解決に向けて

研修講座」

●健康や体力の向上による、たくましい人づくり●

学校安全の推進

「健康安全教育講座」

- ・不審者対策及び少年犯罪の現状と課題
- ・自動体外除細動器の特性と使用方法

体力づくりの推進

「小学校実技実習ベーシック講座」
(体育科)

- ・健康と体力の向上

ITECによる「体づくり運動」等の「小学校 楽しい授業のひと工夫」の掲載

一人一人のニーズに対応した特別支援教育の充実

●特別支援教育体制の充実●

特別支援教育の推進

「特別支援教育講座」

- ・特別支援教育コーディネーターの役割と活動
- ・校内支援体制の構築と校内委員会の活動

特別支援教育コーディネーターの育成

「特別支援教育コーディネーターの養成講座」

- ・個別の支援計画の作成等で校内外の連絡、調整の役割と校内体制の確立

「特別支援教育コーディネーター

スキルアップ講座」

- ・各市町や教育局管内の支援体制の整備

K-A B C心理検査

「心理検査実技講座」

- ・K-A B C心理検査の概要と実施方法

ITECによる情報発信

一人一人の障害の状態等に合わせた教材・教具の紹介

不登校の未然防止と解決に向けて

京都府総合教育センターでは、不登校の未然防止とその解決に向けて、各学校でITEC機能を活用していただきながら、平成17年度の教育相談事業を次のように展開します。

ITEC

教育相談関係の情報発信

ITEC機能を活用した研修

教育相談関係研修講座 — 不登校への対応を重点に講座の体系化をさらに進めます —

基礎的な知識、技能に関する講座については、指導者養成講座の修了者の皆さんにも御活躍いただき実施し、専門研修講座はさらに専門性の高い内容で実施します。
学校教育相談の研修講座の詳細は、P. 14をご覧ください。

府民開放講座 — 府民の皆さんとともに子どもの「こころ」について考えます —

「子どものこころ セミナーⅠ」 平成17年6月11日（土）13:00～16:00
講師 京都大学大学院 教授 河合 俊雄 先生

学校・地域支援と研究成果の波及

京都府広域スクーリング・サポート・センター (SSC) — 指定地域の不登校対策を支援し、成果を波及させます —

不登校児童生徒の早期発見・早期対応をはじめ、より一層きめ細かな不登校への支援を行い、各地域の不登校対策の中核的機能をもつのがスクーリング・サポート・センター(SSC)です。
今年度に引き続き、平成17年度も次の8つの市町が指定され、教育支援センターを中心に「地域SSC」として地域ぐるみのネットワークの整備をしています。

長岡京市 八幡市 城陽市 木津町 亀岡市 福知山市 舞鶴市 宮津市

当センターは「広域SSC」として、8つの「地域SSC」の機能をサポートするため、地域SSCの相談員、指導員及び学校教育相談担当者（学校教育相談実技指導者養成特別講座修了者等）に御参加いただき、大学教授等を招いて**研修会を開催**したり、地域SSCの相談事例に係る**コンサルテーションを実施**します。

研修会やコンサルテーションを通して、教育支援センターと学校教育相談担当者との連携が進むよう、学校支援、地域支援を進め、「不登校の未然防止と解決」についての研究成果を**ITEC**を通じて府内のすべての地域に広めていきます。

派遣

研究主事等派遣事業 — 市町村、府立学校の研修会を直接的に支援します —

市町村教育委員会主催または府立学校主催の研修会に研究主事等を活用いただき、要請があれば各地域の研修会の充実を支援します。
(例)・事例検討会 ・教育相談指導者研修会 等

「学校教育相談の力量の向上」を目指して学校を支援します。

— 関係行政機関と連携・協働して、不登校の未然防止と解決を図ります —

- ・指導者養成講座の修了者の皆さんにも御活躍いただき、府全体の教育相談研修の裾野を広げることができるよう、学校教育相談の機能と体制を支援します。

「教育相談」を不登校児童生徒支援の基盤に据えて取り組みます。

— 電話・来所・巡回教育相談、コンサルテーションなど様々な形態で心理面接を行います —

- ・高度に専門的な教育相談を実施し、府民の方々、教職員のニーズに応えます。
- ・大学等の研究機関や京都府臨床心理士会、スクールカウンセラーと密に連携します。

不登校③「不登校への対応」(最終回)

不登校の子どもへの家庭訪問 ～「親のこころ」に会いに行く～

教師から寄せられる相談には、「親が子どもに過干渉で、口うるさく言い過ぎ。」「子どものことを放ったらかしで親は自分のことしか考えていない。」「親が自分のイライラを子どもにぶつけるから・・・。」など、不登校の子どもへの親の養育態度や家庭生活の在り方に対する非難や不満が含まれることがあります。

今回は不登校の子どもへの家庭訪問での、親との面談について考えてみましょう。

周りからみていると、親がもっとこうしてあげた方がいいとか、こんなことも親ならできるのと思えることがあります。懸命に教師が取り組んでいけばいいほど、「子どものためにこれだけ自分がやっているのに・・・」と親に対する不満があつて当然と言えるでしょう。

「〇〇のようにしてあげてください」「もっと△△というふうにしていきましょう」と親に学校の方針を伝えたり、アドバイスしながら一緒にやってくれるうちは、それが子どもの成長に役立ち、学校復帰に向けて効果的に働いているのかもしれませんが、けれども、いつまでもアドバイスのおりに親の養育態度や家庭生活の在り方が変化し続けることはありません。もし親ができそうにないアドバイスを一方的に続けたとすると、多くの場合、親は「先生はちっともわかってくれない」と不満を感じるようになります。そうすると互いに不信感が高まり、親にも教師にも家庭訪問の場がストレスを生む要因となってしまいます。

親に対する非難や不満などの感情が自分の中に起こってきたり、何かアドバイスがしたくなるとすれば、それはおそらく子どもの側に立って親の話を聞いているか、自分の教育観や人生観と照らして親の話を聞いているからでしょう。親と会うときには、親の側から「家庭訪問」を眺めてみるのが大事です。親は自分の言葉をどのように受け止めたのだろうか、この面談が親自身のためになったのだろうか・・・と、親の側から眺めるのです。

たいてい、親がどのように感じていて、これからどのようにしたいかなどということは、こちらにはわからないので、だからこそ親の言葉を「聴く」ということが必要になるのです。

親に会いに行くときに、最も大事なことは「親、その人自身と会う」ということです。子どもとの関わりに悩みをもっている「親のこころ」に会いに行くということが必要です。その悩みはすぐには口にしないことかもしれないし、できないのかもしれませんが、何度か足を運んで親の語りにじっくりと耳を傾け

ていると、親自身のことがじわじわと伝わってくるものです。

子どもが登校したくても登校できないとなると、それは親の養育に間違いや足りなさがあつたのだろうと周囲の人から見られ、親自身もとても辛く苦しいものです。そのため、時には登校できない原因を教師のせいだと責めたり、友達のせいにしてたりというように他者に向けられることも起こってきます。

確かに周りの関わりに明らか非があるなど、時には原因が他者にあることもあります。多くの場合、そのようにして、責任を転嫁しないと親自身が安定を得られないことが多いからです。

仮に子どもへの関わり方が多少ずれていたか間違っていたとしても、不満や辛さ、苦しさでいっぱい「親のこころ」に添い続けていくと、親としてその時々子どもに対してできることを一生懸命にやっただけなんだ・・・ということが、こちらにだんだんと伝わってくるものです。親自身の小さい頃のことや、自分の両親との関わりなどが親の口から内省的に語られ、愚痴もこぼせるようになると、これまでこういうふう子育てしないではいられなかったんだろう・・・と親の子育ての在り方にも納得ができるようになります。こちらが納得できるほど親自身のことが伝わってくるようになると、たいていの親は変化してきます。それは親が自分の不安や悩みに対して楽に向き合えるようになり、子育てをやり直してみようとする元気と自信を回復していくからです。

そうすると子どもも確実に変化してくるものです。

もちろん、担任一人で親の面談まですべて抱え込むということは、時間的にも心理的にも困難ですから、学校教育相談の体制を整えて、チームで「親のこころと会い続ける」ということが大切です。



「教育相談シリーズ」は、ITECにも掲載します。